

2017年2月9日
北海道ニセコ町
鹿児島県錦江町

北海道ニセコ町と鹿児島県錦江（きんこう）町は 『トライセクター連携型のまちづくり』の理念と手法の共有を目的 として『OJT型職員研修』に関する協定を調印します。

子や孫に希望溢れる『未来』を創り、繋ぐため、地方創生に積極的に取り組む鹿児島県錦江町（町長：楠元 忠洋）は、『トライセクター連携型のまちづくり』において先駆的存在である北海道ニセコ町（町長：片山 健也）へのOJT型（勤務型）職員派遣に関する協定を調印します。

※トライセクターとは

プライベートセクター（民間）・ソーシャルセクター（NPO や社会活動組織）・パブリックセクター（行政）の総称がトライセクターであるとされています。

未曾有の急激な人口減少や高齢化に伴い、パブリックセクター（行政）だけでは解決できない社会課題を解決する為に、異なるセクター同士が、これまで以上のスケールで力を合わせなければなりません。

当町では、2つまたは1つのセクターに所属しながら、他セクターの人々と協働して、社会課題解決に取り組むコーディネイターの人材を育成する必要があると考えています。

錦江町ではニセコ町長 片山 健也氏による『住民との積極的な連携によるまちづくり』に関する啓発講演を予定しており、同日、調印及び共同記者会見を行います。

◆調印式及び講演日時について

- 1) 調印式・記者会見 2月16日（木）17時30分～18時00分 本庁2階 町長室
- 2) 片山氏による講演 2月16日（木）18時30分～20時30分 文化センター2階 会議室

◆調印内容について

- 1) 住民参画型町政運営の理念とノウハウを学ぶことを目的とする。
- 2) 錦江町職員を一定期間（第1期は約2ヶ月間）継続的に派遣する。
- 3) 派遣職員は片山町長の秘書的ポジションを担う。
- 4) その他、1)の目的に合致する町内事業に積極的に参加する。
- 5) 研修終了後、派遣職員はソト者目線でニセコ町への改善提言を行う。
- 6) 研修終了後、派遣職員は研修経験をもとに、当町への改善提言を行う。

両町は、本協定を通じて『価値観共有』を基本とした政策交流を図ることで、社会課題解決に寄与できるような関係づくりを目指します。

◆北海道ニセコ町について

ニセコ町は小規模自治体でありながら人口が微増傾向にある約 5,000 人の農業と観光の町です。農業は水稲、畑作、畜産があり、小規模から 100ha まで多様な経営体が多品種の農畜産物を生産しています。

観光は、パウダースノーを介して世界中からスキーヤーなどが集まる、世界から注目される高原リゾートとなっています。

町は 2000 年 12 月、日本で初めて、自治体の憲法といわれる「まちづくり基本条例」を制定しました。予算ヒヤリングを始めとする各種会議の公開、町の予算書の全戸配布、町の課題を話し合う 150 回を超える町民講座の開催、ISO 規格になっている文書管理の導入など、徹底した情報共有と住民参加の実践を通じて自治を育み、「住むことが誇りに思えるまちづくり」を目指しています。

同時に、2016 年 3 月、国の環境モデル都市に選定されたニセコ町は、産業基盤を持続可能なものとするため、CO2 の削減、エネルギー転換、省エネ対策など、民間企業と協力しながら「環境創造都市」を目指しています。

(参考) 内閣府経済社会総合研究所 HP ※ニセコ町解説記事掲載_
http://www.esri.go.jp/jp/prj/mytown/suisho/su_07_0604_01.html

◆ニセコ町のトピックス

ニセコ町は年間約 150 万人の観光客が訪れる町ですが、近年、パウダースノーを求めてインバウンドが激増し、活況を呈しています。また、観光客のみならず、地元に住みコミュニティに溶け込みながら宿泊業、不動産業などのビジネスを展開する外国人も多く（288 世帯／1 月末）、町もインターナショナルスクールを誘致するなど、誰もが住みやすい環境を整えるよう配慮しています。

◆鹿児島県錦江町について

鹿児島県の大隅半島南部に位置し、人口 8,087 人（2016 年 9 月 1 日現在）の町です。

町内から縄文時代の遺跡も発掘された古い歴史を持つ錦江町は、農業が主な産業で、園芸、畜産が盛んです。自然に恵まれた環境や心あたかな住民が魅力の町です。

本年度、全国公募を通じて、同町初の地方創生担当統括監（特別職）として招へいた外部人材と共に《錦江町『MIRAI』づくりプロジェクト》を立ち上げました。

◆錦江町のトピックス

～平成 29 年 4 月本格始動。錦江町『MIRAI』づくりプロジェクトについて～

“『厳しい現実』を逆手にとって、子や孫の為に希望溢れる『未来』を創り、繋ごう!!”をコンセプトとしたトライセクター連携型のプロジェクトです。

直近では、総務省が進める「お試しサテライトオフィス」のモデル事業を九州では唯一、1万人以下の自治体でも唯一採択され、ソフトバンク系IT企業や企業のメンタルヘルス研究を得意とする学術機関と連携し、『廃校になった中学校を活用したサテライトオフィス設置によるモニター企業誘致』を行い、企業が求める執務環境、生活環境支援をメンタルヘルスの観点から分析および具体化したニーズへ対応し安定的な企業誘致に繋がります。

また、県内有数の過疎地ならではの課題が多く存在する錦江町を、先端技術（IoTなど）活用の実証実験（例：農業、行政、福祉等×IoT、AI、センシング等）の場とすべく、環境整備を積極的に進める予定です。

◆本件における問い合わせ先

□ニセコ町役場 企画環境課 担当：山本、佐々木

TEL：0136-44-2121 FAX：0136-44-3500

E-mail：kikaku@town.niseko.lg.jp

□錦江町役場 政策企画課 担当：池之上・吉田

TEL：0994-22-3032 FAX：0994-22-1951

E-mail：seisaku@town.kinko.lg.jp

以上